

政策整理番号	2	施策番号	2	評価シート(B) (施策評価: 施策を構成する事業の評価)			
対象年度	H18	作成部課室	保健福祉部 医療整備課	関係部課室			
政策名	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり			政策番号	1 - 1 - 2		
施策番号	2	施策名	周産期・小児医療体制の充実				
施策概要	妊娠中の母親・胎児、さらには生まれてからの子どもの成長過程に応じた適切な医療の提供を図るため、総合周産期母子医療センターとして指定した「仙台赤十字病院」や「宮城県立こども病院」などが役割を分担し、県内の産科・小児科病院・診療所が相互に連携し協力する総合的な小児医療体制の整備を目指します。(周産期: 妊娠22週以後生後1週間未満の期間)						
政策評価指標 / 達成度	周産期死亡率(出産千人当たり)	A					

達成度: A(目標値を達成している)、B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している)、... (現状値が把握できない等のため判定不能)

施策を構成する事業の分析

活動(事業) / 活動(事業)によりもたらされた結果						活動(事業)によりもたらされた成果						
事業番号	事業名 【担当課】	事業の対象 (誰・何を対象として)	事業の手段 (内容) (何をしたのか)	業績指標名 (単位) (事業の活動量、「事業の手段」に対応)	H16	H17	H18	事業の目的 (意図) (対象をどういう状態にしたのか)	成果指標名 (単位) (事業の成果、「事業の目的」に対応)	H16	H17	H18
					業績指標の値					成果指標の値		
					事業費 (決算(見込)額, 千円) 単位当たり事業費(千円)							
1	小児総合医療整備事業(小児総合医療システム整備事業) 【医療整備課】	周産期・小児医療協議会の開催(平成16年度から)	医師など医療関係者により周産期・小児医療の充実に向け協議した。	周産期・小児医療協議会小児医療部会の開催(回)	4	2	1	小児医療部会の開催により、医療機関等関係機関の連携を促進する。	周産期死亡率(出産千人当たり)	5.3	4.7	
					1,307	720	657					
					326.8	360.0	657.0					
2	小児総合医療整備事業(周産期医療対策事業) 【医療整備課】	周産期医療部会の開催(平成16年度から)	産婦人科医師など医療関係者により周産期医療の充実に向け協議した。	周産期医療部会の開催(回)	2	1	1	周産期医療部会の開催により、医療機関等関係機関の連携を促進する。	周産期死亡率(出産千人当たり)	5.3	4.7	
					37,235	38,449	38,202					
					18617.5	38449.0	38202.0					
3	()											
4	()											
5	()											
事業費計(千円)					38,542	39,169	38,859					

B - 1, 2, 3 施策を構成する事業群の評価

B 施策評価(総括)

B - 1 施策実現にむけた県の関与の適切性と事業群設定の妥当性	B - 2 事業群の有効性	B - 3 事業群の効率性
適切	概ね有効	概ね効率的
<p>【評価の根拠】 施策を構成する事業の分析「B-1 事業への県の関与の適切性と事業設定の妥当性」を総括して記載</p> <p>・関係機関と県との役割分担は適切であり、周産期・小児医療の担い手が減少している中で、安定した医療を提供していくためには、県による支援が必須である。</p>	<p>【評価の根拠】 施策を構成する事業の分析「B-2 事業の有効性」を総括して記載</p> <p>・関係者による連携の促進、周産期医療体制の整備の推進により、政策評価指標は順調に推移している。この施策を構成する事業の効果も一定程度貢献していると考えられ、「概ね有効」と判断する。</p>	<p>【評価の根拠】 施策を構成する事業の分析「B-3 事業の効率性」を総括して記載</p> <p>・事業単価はほぼ横ばいであるが、成果指標は確実に低下しており、概ね効率的と判断する。 ・ドクターバンク事業などと連携し産科・小児科医の確保に努める。</p>

概ね適切
<p>【評価の根拠】 B - 1, 2, 3を総括し施策を総合的に評価</p> <p>・周産期・小児医療の担い手の地域偏在等が著しい中で、安定した医療を提供していくためには、県が関係機関と連携を図りながら事業を推進していく必要があり、成果指標からも十分な成果が認められることから、事業の設定及び推進は「概ね適切」に行われていると判断する。</p> <p>【施策の次年度(平成20年度)の方向性】 この施策における今後の課題等を記載</p> <p>・周産期・小児医療の担い手の地域偏在等が著しい中で、国からも集約化・重点化に係る通知があり、関係者との連携を十分に図りながら効果的な周産期・小児医療体制の整備を図るための具体策を取りまとめる。</p>

施策を構成する事業の分析

施策を構成する事業の方向性

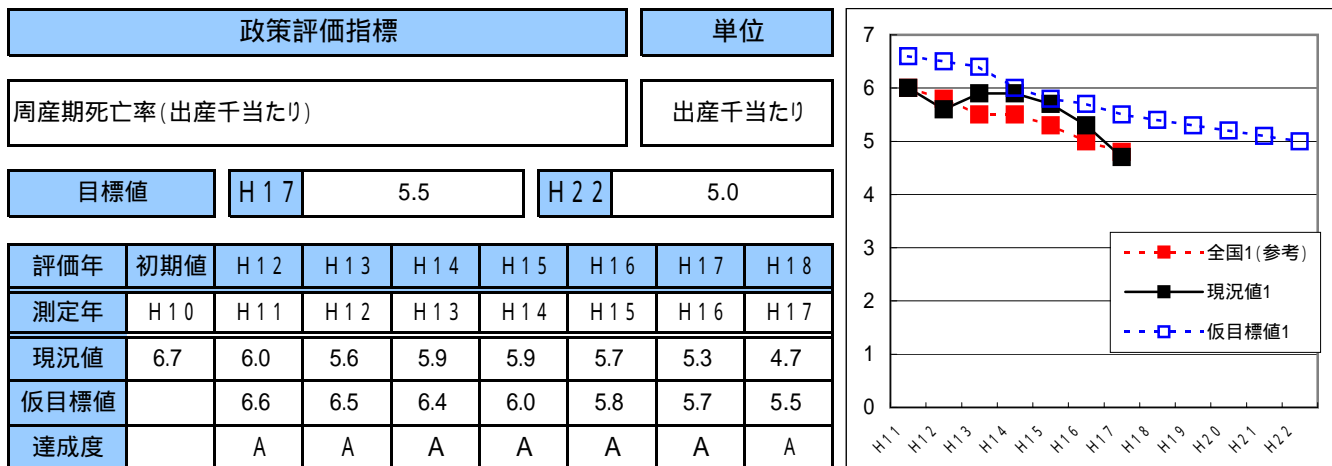
活動(事業)の分析		
B-1 施策実現にむけた県の関与の適切性と事業設定の妥当性	B-2 事業の有効性	B-3 事業の効率性
<p>【国、市町村、民間団体との役割分担は適切か】 【施策目的及び社会経済情勢を踏まえた事業か】 【事業間で重複や矛盾がないか】</p>	<p>【成果指標の推移から見て、事業の成果があったか】 【施策目的の実現に貢献したか】</p>	<p>【事業は効率的に執行されたか(単位当たり事業費の推移その他から)】</p>
<p>・国は補助事業の実施を、県は補助事業の実施のほか、協議会の運営により、関係者の連携を促進し、市町村自治体病院及び民間団体は医療を県民に提供しており、役割分担は適切である。 ・周産期・小児医療の担い手が減少しており、行政による支援は必須である。</p>	<p>・事業は間接的であるが毎年度、確実に周産期死亡率は減少しており、有効である。</p>	<p>・事業単価は微増であるが、成果指標は確実に低下しており、概ね効率的と判断する。</p>
<p>・国は補助事業の実施を、県は補助事業の実施のほか、協議会の運営により、関係者の連携を促進し、市町村自治体病院及び民間団体は医療を県民に提供しており、役割分担は適切である。 ・周産期・小児医療の担い手が減少しており、行政による支援は必須である。</p>	<p>・毎年度、確実に周産期死亡率は減少しており、有効である。</p>	<p>・事業単価はほぼ横ばいであるが、成果指標は確実に低下しており、概ね効率的と判断する。</p>

活動(事業)の次年度(平成20年度)の方向性とその説明	
方向性	方向性に関する説明
	<p>「宮城の将来ビジョン」における位置づけ</p>
取組番号	取組名
維持	<p>少ない医療資源の有効活用や連携を推進し、効果的な周産期・小児医療体制の整備に努める。</p>
維持	<p>少ない医療資源の有効活用や連携を推進し、効果的な周産期・小児医療体制の整備に努める。</p>

政策評価指標分析カード(整理番号1)

政策整理番号 2 施策番号 2

対象年度	H18	作成部課室	保健福祉部 医療整備課	関係部課室	
政策名	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり			政策番号	1 - 1 - 2
施策番号	2	施策名	周産期・小児医療体制の充実		



達成度:A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している), ... (現状値が把握できない等のため判定不能)

政策評価指標の概要

1年間の周産期死亡数(妊娠22週以後の死産数+早期新生児死亡数(生後1週未満の死亡数))÷1年間の出産数(出生数+妊娠22週以後の死産数)×1000

政策評価指標の選定理由

- ・ 少子社会の更なる進展が予想される中で、新生児の死亡率を下げるるとともに、次代を担う子ども達が健やかに成長できる社会づくりが急務である。
- ・ 医療面においては、安心して子どもを産み育てられるとともに、病気を持った子どもとその家族が、望ましい環境の中で治療を受けられるよう周産期・小児医療の充実が求められている。

達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

- ・ 達成度:・・・A
- ・ 平成14年4月に仙台赤十字病院が総合周産期母子医療センターに指定され、また、平成15年11月に県立子ども病院が開院し、NICU9床が新たに整備されるなど、高度医療供給体制が充実してきており、成果が出ているものと推測される。
- ・ 今後は、上記の病院とともに3次医療を担う東北大学病院や地域周産期母子医療センターに認定している11病院との連携を推進するとともに、ハイリスク妊婦の円滑な搬送体制を早期に確立することが課題である。
- ・ 産科・小児科医の確保が重要であるが、医学生の意向、養成に時間が必要など一朝一夕に解決できない構造になっている。

政策評価指標の妥当性【施策の有効性を評価する上で適切な指標か】

・ 全国平均を下回る死亡率となっており、確実に改善が見られ、本事業を継続することで一層の成果を期待できることから、政策評価指標として継続する。

